

# ！ 土砂災害発生！家のまわりはどうなるの？

避難を完了していないと命にかかります。



平成30年7月豪雨災害(広島県海田町) 写真提供: 広島県海田町

あなたはこのなかを安全に避難できますか？



命がけの  
避難に  
ならない  
ように！

平成24年9月台風災害(岐阜県揖斐川町)

- Q1 屋内にいれば土砂災害から身を守れる？
- Q2 土砂災害の前ぶれさえ知っていれば、すぐ逃げられる？
- Q3 自分の家はイエローゾーンだから避難しなくても大丈夫？
- Q4 警戒区域に入っていない場所は大丈夫と言える？



- A1 土砂災害で被災された方のうち、屋内で被災された方の割合は約90%にのびます。屋内に留まらず安全な場所に避難して下さい。
- A2 土砂災害はあっ！という間に発生します。発生してからでは手遅れになる可能性があります。
- A3 イエローゾーンは災害による土砂が届く範囲です。車も使えなくなり家が孤立します。
- A4 警戒区域は、過去の災害実情をもとに、一定の要因を満たす区域を指定するものです。指定されていない場所でも土砂災害の危険性が全くないわけではありません。

## POINT

- 豪雨のなか、土砂があふれた道を移動するのは難しく、新たな土砂災害に巻き込まれる危険性もあります。
- 逃げ遅れた場合は命にかかります。災害が起きる前に早めの避難をしましょう。

## 【平成30年7月豪雨災害で被災した方の気付き】

- 土砂降りの雨が降り、谷という谷から土砂が流れ出し、道路をふさいでしまったため、車は避難に使えなかった。
- 土砂が流れ出し、あっという間にまわりの状況が変わってしまった。
- 土砂災害では家にも危険。避難するタイミングをうかがってはダメ。

引用:平成30年7月豪雨災害に係る住民避難行動の要因分析(岐阜県、岐阜大学)

